

平成31年度（2019年度） 家庭科 年間指導計画【第2学年】

評価方法	①授業観察	②発言・発表	③家庭ノート
	④ワークシート	⑤作品	⑥宿題
	⑦定期考査		

平成31年度 2年1学期

【教科： 技術・家庭（家庭分野）】

学期	月	時数	単元	学習内容	評価規準					
					生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	知識・理解		
1	4	6	食生活と栄養	・ 食事の役割について考えよう	食事の役割について、自分の食生活の課題と結びつけながら、考えようとしている。 ①	自分の食生活において、これからも続けたい食習慣と改善したい食習慣について考え、工夫している。 ③	自分の食生活を振り返り、食生活の改善に取り組むための目標をワークシートにまとめ、発表することができる。 ②④	食事の役割について理解している。 ③⑦		
				・ 食生活の課題を見つけよう	自分の食生活を振り返り、健康に良い食習慣について考えようとしている。 ①			健康を支える3本の柱について理解している。 ⑦		
	5			・ 栄養素の種類と働きを知ろう	栄養素の種類と働きについて関心をもち、考えようとしている。			栄養素の種類と働きについて理解している。 ③⑦		
			・ 中学生に必要な栄養素の特徴を考えよう	中学生に必要な栄養素の特徴について関心をもち、考えようとしている。 ①②	中学生に必要な栄養素の特徴について理解している。 ③⑦					
	6	5	献立作りと食品の選択	・ 食品に含まれる栄養素を調べよう	食品成分表を使い身近な食品の栄養的特徴を調べようとしている。 ①③			いろいろな食品を組み合わせるよう工夫できる。 ③	食品成分表を使い身近な食品の栄養的特徴を調べる。 ③④	食品に含まれる栄養素は食品によって違いがあることを理解している。 ③⑦
				・ 何をどの位食べればよいか考えよう 6つの食品群 食品群別摂取量の目安	食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概量に関心をもち、食品について調べたり計量したりしようとしている。 ①					身近な食品を栄養的特徴により、6つの食品群に分類することができる。 ③

7			<ul style="list-style-type: none"> ・ バランスの良い食事 について考えよう 献立を考えるときの条件 献立作りの手順 ・ 献立を立てよう (実習) <p><課題と実践> 夏休みの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エコクッキングでお弁当を作ろう 	<p>中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を、考えようとしている。 ①③</p> <p>栄養的にバランスのよい1日分の献立を考えようとしている。 ①②</p> <p>環境に配慮した調理に関心を持ち、調理に意欲的に取り組もうとしている。 ⑥</p>	<p>中学生の1日分の献立について課題を見つけ、必要な栄養を満たすために料理や食品の組み合わせ方について、考え工夫している。 ③</p> <p>不足している食品群を補うような献立を考え工夫している。 ③</p> <p>環境に配慮した調理について考え工夫している。 ⑥</p>	<p>栄養的にバランスのよい1日分の献立を立てることができ る。 ④</p> <p>環境に配慮しながらお弁当を作り、献立、材料、調理方法、環境に配慮した点などを、ワークシートにまとめることができる。 ④⑥</p>	<p>中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立の立て方について理解している。 ③⑦</p> <p>栄養的なバランスを考えた1日分の献立の立て方について理解している。 ③⑦</p> <p>環境に配慮した買い物、調理、かたづけの仕方について理解している。 ⑥</p>
---	--	--	--	--	---	--	--

学期	月	時数	単元	学習内容	評価規準			
					生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	知識・理解
2	9	6	献立作りと食品の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品と加工食品の特徴を知ろう。 ・生鮮食品・加工食品の選択と購入について考えよう ・食品の選択と購入食品の表示 ・食品の保存と食中毒の防止について考えよう 	安全で衛生的に食品を扱うことに関心をもって、取り組んでいる。①	用途に応じた食品の選択について収集・整理した情報を活用して、考え工夫している。①②	身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。③	生鮮食品、加工食品の特徴と品質の見分け方について理解している。③⑦ 食品を選択するための観点について理解している。⑦ 食品の表示の意味について理解している。③⑦ 食品の保存方法、食中毒を防ぐ方法について理解している。③⑦
	10	9	調理と食文化	<ul style="list-style-type: none"> ・日常食の調理をしよう <調理実習> <ul style="list-style-type: none"> ・肉の調理をしよう ・魚の調理をしよう ・野菜の調理をしよう ・地域の食材を生かした調理をしよう 	日常食の調理に関心を持ち、安全や衛生に気をつけながら、調理実習に意欲的に取り組もうとしている。① 肉、魚、野菜の調理に関心を持ち、調理に意欲的に取り組もうとしている。① 地域の食材について調べようとしている。③	日常食の調理について必要な手順や時間を考えるなど、計画を工夫している。③ 肉・魚・野菜の種類や部位に適切な調理方法を考え工夫している。①	調理器具を正しく使用でき、安全に配慮しながら作業をし、調理技能を身に付けている。① 安全と衛生に留意しながら、適切な火加減で魚・肉・野菜の調理をすることができる。①	調理の目的について理解し、安全や衛生に気をつけることを具体的にあげることができる。⑦ 肉・魚・野菜の調理上の性質や調理方法について理解している。③⑦ 地域や季節の食材を用いることの意義について理解している。③⑦
	11	12	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい食生活を目指して ・食品の安全 ・食糧自給率 ・食品の輸送とエネルギー ・食生活とごみ 	食品の安全性に関する問題などに関心を持ち、具体的に調べようとしている。③	食品の安全性に関する課題を見つけ、解決するための方法を考え工夫している。③ 自分や家族が食事をする際に、食料自給率を上げるにはどうすればよいかを考え、工夫している。③	食中毒を防ぐために、自分たちにできることを考えワークシートにまとめ発表することができる。④	食品の安全性や食品を適切に扱うことの大切さについて理解している。③⑦ 食料自給率について理解している。③⑦	

				<p><課題と実践> 冬休みの課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ 年末年始の行事と行事食を調べよう・ おせち料理を調べよう	<p>行事食について調べようとしている。 ⑥</p> <p>地域や季節の行事食の調理に関心を持ち意欲的に取り組もうとしている。 ⑥</p>			<p>地域の食文化の意義について理解している。 ⑥</p> <p>行事食の調理について理解している。 ⑥</p>
--	--	--	--	---	---	--	--	--

学 期	月	時 数	単 元	学 習 内 容	評 価 規 準			
					生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	知識・理解
3	1	8	私 た ち の 消 費 生 活 と 環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者としての自覚をもとう ・ 金銭の管理と購入 ・ 販売方法と支払い方法について知ろう ・ 商品の選択と購入について考えよう 	自分や家族の消費生活を振り、消費生活の在り方を改善しようとしている。 ③ 身近な販売方法と支払い方法に関心を持ち、その利点と問題点について考えようとしている。 ③ 商品を選ぶときに重視するポイントについて関心を持ち、考えようとしている②	収集・整理した情報を活用して、物資・サービスの選択、購入および活用について考え、工夫している。③	物資・サービスの選択、購入および活用について必要な情報を収集・整理することができる。 ③	契約について理解している。 ⑦ 販売方法と支払い方法の種類と特徴について理解している。 ③⑦ 物資・サービスの選択、購入および活用に関する知識を身に付けている。 ③⑦
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者トラブルを解決する方法を知ろう ・ 消費者の権利と責任について考えよう 		消費生活に関わるトラブルなどを解決する方法を考えるを通して自分や家族の消費のあり方を改善しようとしている。 ①③ 消費者の権利と責任について関心を持ち、消費の在り方を改善しようとしている。 ①③	消費者トラブルに対応するための方法について考え、工夫している。 ③	消費者トラブルに関する知識を身に付けている ③⑦ 消費者の権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。 ③⑦		
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ よりよい消費生活を 目指して ・ エネルギー消費を減らす 方法を考えよう ・ 持続可能な社会を目指そ う 		これまでの学習を振り返り、よりよい消費生活について考えようとしている① 環境に配慮した消費生活について関心をもって学習活動に取り組み、よりよい生活を実践しようとしている。 ①②	環境に配慮した消費生活について考え、身近な生活における実践を通して自分なりに工夫している。 ③ 環境に配慮した消費生活について課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫して創造している。 ③	よりよい消費生活を送れるよう、自分の消費行動を複数の観点から検討することの大切さを理解している。 ④ 消費生活と環境との関わりについて理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ③⑦		